

## 試験研究成果普及情報

部門	麦及び雑穀	対象	普及
課題名：「おおまさり」1条播き栽培における播種適期と収穫適期			
<p>[要約] ゆで用落花生品種「おおまさり」の播種適期は5月中旬～5月下旬で、レトルト製品率が最も高くなる収穫適期は開花期後85日である。収穫作業性を改善するために1条播き栽培すると、生莢収量は12%程度減少するが、レトルト製品率は向上する。</p>			
キーワード <sup>※</sup> 落花生、おおまさり、栽植方法、レトルト製品率			
実施機関名 主 査 農林総合研究センター 落花生研究室 協力機関 農林総合研究センター 水稻畑地園芸研究所 畑地利用研究室			
実施期間 2012年度～2014年度			

### [目的及び背景]

ゆで用落花生品種「おおまさり」は極大粒で甘味が強く、レトルト加工などで実需者の評価は高い。しかし、収穫適期の判断が難しいことや、分枝長が長くて株が広範囲に広がるために慣行の2条播き栽培では収穫作業が困難であることが指摘されている。そこで、ゆで用の収穫適期の判定、及び収穫性向上を目的とした栽培技術を確立する。

### [成果内容]

- 1 「おおまさり」は5月中旬～5月下旬播種に比較して6月中旬播種では生莢収量が低下する。また、レトルト製品率は播種の早い5月中旬で高い傾向がある（表1）。
- 2 「おおまさり」のレトルト製品率が最も高くなる収穫適期は、開花期後85日であり、80日以前では未熟のつぶれ莢が多く、90日以降では下莢が増加する（表2）。
- 3 掘り取り時の茎葉の絡みが少ない1条播き栽培では、面積当たりの茎葉重が2条播き栽培より20%程度減少し、生莢収量も12%程度減少するが、レトルト製品率は向上する（表1、表2）。

### [留意事項]

### [普及対象地域]

県内全域の落花生生産者

### [行政上の措置]

### [普及状況]

[成果の概要]

表1 「おおまさり」の播種期と植え付け条数が茎葉重とゆで豆収量、製品率に及ぼす影響  
(平成26年度、八街市)

試験区 播種期 (月/日)	条数	収穫期 (月/日)	開花期 後日数 (日)	茎葉重 (kg/10a)	慣行 比 (%)	生莢重 (kg/10a)	慣行 比 (%)	ゆで莢重 (kg/10a)	レトルト 製品重 (kg/10a)	等級別割合 (重量%)			
										レトルト	ほか 上莢	つぶれ ・未熟	ほか 下莢
5/14	1条	9/11	85	1,822	76	1,739	91	1,193	444	37.3	12.4	18.7	31.6
	2条(慣行)	9/11	85	2,411	-	1,915	-	1,458	494	33.9	11.6	19.2	35.3
5/28	1条	9/24	86	1,921	83	1,649	88	1,198	321	26.8	8.7	23.2	41.3
	2条(慣行)	9/24	86	2,318	-	1,882	-	1,462	363	24.8	8.0	24.7	42.5
6/11	1条	10/7	86	1,811	82	1,368	85	912	275	30.2	8.6	32.9	28.4
	2条(慣行)	10/7	86	2,212	-	1,606	-	974	266	27.3	4.6	33.6	34.5
平均	1条			1,851	80	1,586	88	1,101	347	31.4	9.9	24.9	33.7
	2条(慣行)			2,314	-	1,801	-	1,298	374	28.7	8.1	25.8	37.4

注1) 株間はともに30cm、栽植株数は1条が2,564株/10a、2条が5,128株/10a。

注2) 慣行比は2条播きに対する割合

注3) 各調査日に圧力鍋で10分間塩ゆでし、レトルト製品重はレトルト規格に適合する2粒莢の上莢。

表2 「おおまさり」の収穫期と植え付け条数が茎葉重とゆで豆収量、製品率に及ぼす影響  
(平成26年度、八街市)

試験区 収穫期 (月/日)	条数	開花期 後日数 (日)	茎葉重 (kg/10a)	慣行 比 (%)	生莢重 (kg/10a)	慣行 比 (%)	ゆで莢重 (kg/10a)	レトルト 製品重 (kg/10a)	等級別割合 (重量%)			
									レトルト	ほか 上莢	つぶれ ・未熟	ほか 下莢
9/5	1条	79	2,317	86	1,694	91	1,267	402	31.8	12.3	32.5	23.4
	2条(慣行)	79	2,706	-	1,860	-	1,482	399	26.9	7.9	32.3	32.8
9/11	1条	85	1,822	76	1,739	91	1,193	444	37.3	12.4	18.7	31.6
	2条(慣行)	85	2,411	-	1,915	-	1,458	494	33.9	11.6	19.2	35.3
9/19	1条	93	1,481	69	1,358	78	1,050	326	31.1	9.6	19.1	40.2
	2条(慣行)	93	2,146	-	1,742	-	1,308	359	27.5	10.6	15.3	46.7
9/25	1条	99	1,758	76	1,436	89	1,080	307	28.5	13.7	17.7	40.1
	2条(慣行)	99	2,312	-	1,604	-	1,229	385	31.3	11.3	15.7	41.7

注1) 平成26年5月14日播種。株間はともに30cm、栽植株数は1条が2,564株/10a、2条が5,128株/10a。

注2) 慣行比は2条播きに対する割合

注3) 各調査日に圧力鍋で10分間塩ゆでし、レトルト製品重はレトルト規格に適合する2粒莢の上莢。

[発表及び関連文献]

- 1 岩田ら、落花生新品種「おおまさり」の育成経過とその特性、千葉県農業総合研究センター研究報告、第7号、2008年
- 2 高野ら、ゆで豆用落花生「おおまさり」の収量特性と栽培法、千葉県農林総合研究センター研究報告、第3号、2011年

[その他]

- 1 平成23年度試験研究要望課題 (提起機関 生産販売振興課)